

第1学年 外国語科学習指導案

指導者 西岡 妙子

ALT ジェレミー・モロウ

1 単元名

UNIT7 Foreign Artists in Japan (NEW HORIZON ENGLISH COURSE 1)

2 単元について

○教材観

本単元は、登場人物が日本の伝統芸能や伝統工芸に取り組む外国人を紹介する場面と、ダイアン吉日さんを通して落語に興味を持ち、友達と公演に行く場面が設定されている。新出言語材料として、代名詞の目的格や which、whose を学習する。本単元を通して、普段触れることの少ない日本の伝統文化について理解を深める機会としたい。

また、単元終末のパフォーマンステストは、ALT が、アメリカに住んでいるアニメ好きの息子のために、アニメキャラクターのスマホケースをお土産にしたいという場面を設定し、日本で人気のあるキャラクターについてやり取りする課題を設定した。日本の文化のひとつであるアニメキャラクターについて、実際に ALT とやり取りさせたいと考えている。

○生徒観

本校の1年生は、英語教育改善プラン推進事業のアンケートから、「英語の勉強が好き」「英語の勉強は大切だ」と思う生徒の割合が高いことが分かる。しかし、英語の勉強は大切だと思う生徒が多い反面、将来英語を積極的に使うような生活をしたり、職業に就いたりしたいと思う生徒の割合が低いことがうかがえる。英語学習が大切だと思っても、なかなか将来につなげていこうという意欲が低いことが見てとれるため、適切な目的・場面・状況が設定された言語活動を通して、資質・能力の育成に努めていきたいと考える。

これまで本校では、「話すこと[やり取り]」において、スモールトークをもとに相手と英語で会話を続けていくポイントや英語でのやり取りを、一人一台端末(Chromebook)を用いて録画・録音し、その様子を分析し、振り返りシートに記入するという活動を行っている。一方的に伝えるのではなく、相手が知りたいことや相手にききたいことをどのように引き出していくのか、本単元の学習を通して指導していきたいと考える。

○指導観

本単元は、前単元で三単現の使い方を学習し、自分の興味のある人物やキャラクターについて説明する文章を書いた後の単元である。これまで、三単現の疑問文や否定文などを用いて、人物やキャラクターについて友達とやり取りをし、それを書くことにつなげる活動を繰り返し行い、定着を図ってきた。本単元でも、同じキャラクターを使用し、Which や whose などを用いながら、やり取りの幅を広げていきたい。

また、やり取りにおいては相手に対して、「良い聞き手・話し手」となれるよう、反応や繰り返し、質問をするなど、会話のつなげ方をスモールトークの中で継続的に指導してきている。本単元では、とりわけ「質問の答えに新たな情報を付け加えること」や「自分の考えや気持ちなどを伝えること」「自ら質問すること」を中心に指導していきたい。Chromebook を使用して、自分のやり取りをしている姿を録画し、客観的に自己調整することを促している。(動画振り返りシート)

3 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標(第1学年)

「話すこと(やり取り)」における第1学年の目標

日常的な話題について、自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

4 単元の目標

ALT の先生が息子へのお土産を買う際に参考となるように、日本の伝統文化やアニメキャラクターについて説明し、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、先生からの質問に答えたりすることができる。

5 言語材料

人称代名詞目的格と所有代名詞、Which～? Whose～?を含む文

Do you know him / her? His～is … Which～ A or B? Whose～?

He likes～. Does he ～? He doesn't～.

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (やり取り)	[知]人称代名詞(目的格)や所有代名詞、which、whose を使う場面や文の形、使い方を理解している。 [技] 日本の伝統文化やアニメキャラクターについて、人称代名詞(目的格)や所有代名詞、which、whose などを用いて伝え合う技能を身に付けている。	ALT の先生が息子へのお土産を買う際に参考となるように、日本の伝統文化やアニメキャラクターについて説明し、自分の考えたことや気持ちなどを伝えたり、先生からの質問に答えたりしている。	ALT の先生が息子へのお土産を買う際に参考となるように、日本の伝統文化やアニメキャラクターについて説明し、自分の考えたことや気持ちなどを伝えたり、先生からの質問に答えたりしようとしている。

7. 単元の指導と評価の計画(全8時間)

時間	目標(◆) 主な言語活動(○)	評価			
		知	思	態	◎評価規準<評価方法>
1	◆単元の目標を理解する。 ◆教科書本文(単元全体)の概要を捉える。 ○単元のゴールとルーブリックを提示する。 ○生徒とやり取りをしながら、教科書本文の概要を理解する。 ○Unit6 で書いた自分の好きなキャラクター・有名人についてやり取りをする。				★本時では、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
2	◆人称代名詞(目的格)の形や意味・使用場面・用法を理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用することができる。 ◆教科書本文(Preview)の内容を理解する。				★本時では、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。

	<p>○自分の好きなキャラクター・有名人について、人称代名詞(目的格)を用いて、1分程度のやりとりをする。[録画①]</p> <p>○教科書の映像を見ながら本文の内容を理解する。</p>				
3	<p>◆人称代名詞(目的格)の形や意味・使用場面・用法を理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用することができる。</p> <p>◆教科書本文(Story①)の内容を理解する。</p> <p>○教科書の映像を見ながら Key Sentence と本文の内容を理解する。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
4	<p>◆Which の形や意味・使用場面・用法を理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用することができる。</p> <p>◆教科書本文(Story②)の内容を理解する。</p> <p>○Which を用いて、キャラクターや有名人に関してどちらが好きか、ほしいかなど、生徒同士でやり取りする。</p> <p>○教科書の映像を見ながら Key Sentence と本文の内容を理解する。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
5	<p>◆Which の形や意味・使用場面・用法を理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用することができる。</p> <p>○Which を用いて、キャラクターや有名人に関してどちらが好きか、ほしいかを理由を付け加えながら生徒同士で1分程度やり取りする。[録画②]</p>	○			◎アニメキャラクターや有名人について、which、などを用いて伝え合う技能を身に付けている。 〈録画動画〉
6	<p>◆Whose や誰のものを表す形や意味・使用場面・用法を理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用することができる。</p> <p>◆教科書本文(Story③)の内容を理解する。</p> <p>○Whose を用いて、誰のものか質問したり、答えたりする。</p> <p>○教科書の映像を見ながら Key Sentence と本文の内容を理解する。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
7 本時	<p>◆ALT の先生に日本のアニメについて詳しく説明できるように、友達とカードトークをしながら、アニメキャラクターについてやり取りすることができる。</p> <p>○Whose を用いて、グッズや体の一部が、どのアニメキャラクターのものなのかを話のきっかけにし、生徒同士で1分程度やり取りする。[録画③]</p> <p>○ALT とやり取りをし、アニメキャラクターについて説明する。</p>	○	○		◎ALT の先生に日本のアニメについて詳しく説明できるように、友達とカードトークをしながら、アニメキャラクターについてやり取りしているか。※詳細は本時展開を参照
8	<p>◆教科書のキャラクターについてのクイズをおこなうことができる。</p> <p>○Whose や三単現を活用しながら、教科書のキャラクタークイズを正確に行う。[録画④]</p>	○			◎教科書のキャラクターについて、whose や三単現などを用いて伝え合う技能を身に付けている。 〈録画動画〉
後日	パフォーマンステスト(※)	○	○	○	

◎パフォーマンステストの内容

ALT のジェレミー先生は、アメリカに住んでいるアニメ好きの息子のために、スマホケースをお土産にしたいと考えています。4つのアニメを選びましたが、それらのアニメキャラクターのことをよく知りません。そこで、日本で人気のあるキャラクターはどんなものか、あなたにたずねます。ジェレミー先生が、お土産の参考にできるように、日本のアニメキャラクターについて、教えてください。以下の4つでなくてもあなたがおすすめたと思うものがあつたら、それについて教えてかまいません。ジェレミー先生からの質問にも答えながら、そのアニメキャラクターについて、会話をしてください。

◎パフォーマンステストにおけるルーブリック(評価基準)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組み態度
a	三人称単数現在、which, whose など誤りのない正しい英文で伝え合うことができる。	ALT の先生が、息子へのお土産の参考にできるように、日本で人気のあるアニメキャラクターについて、自分の考えや気持ちなどを交えながら説明し、自ら質問したり、相手からの質問に情報を付け加えて答えたりして、会話をしている。	ALT の先生が、息子へのお土産の参考にできるように、日本で人気のあるアニメキャラクターについて、自分の考えや気持ちなどを交えながら説明し、自ら質問したり、相手からの質問に情報を付け加えて答えたりして、会話をしようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて伝え合うことができる。	ALT の先生が、息子へのお土産の参考にできるように、日本で人気のあるアニメキャラクターについて説明したり、相手からの質問に情報を付け加えて答えたりして会話をしている。	ALT の先生が、息子へのお土産の参考にできるように、日本で人気のあるアニメキャラクターについて説明したり、相手からの質問に情報を付け加えて答えたりして会話をしようとしている。
C	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

◎パフォーマンステストにおける具体的なゴール(bの姿) ※a:「自分の考えや気持ち」「自ら質問」が加わる。

T: What anime character is popular in Japan?
 S: OK. This is Doraemon. Do you know him?
 T: Yes, but I know only his name.
 S: I see. Doraemon is a cat-robot. He has a lot of tools like small light, takecopter, and so on. Also, he likes Dorayaki very much.
 T: Which tool do you like (better), small light or takecopter?
 S: I like takecopter (better). We can fly with it.
 T: Really? How nice! What is dorayaki?
 S: It's a Japanese cake. It's sweet and salty.
 T: Sounds interesting. Thank you. I'll buy the smartphone case of Doraemon for my son.

8 本時の学習

(1)日時 令和3年11月11日(木) 13:30~

(2)場所 甲府市立南西中学校 1年1組

(3)目標

ジェレミー先生に日本のアニメについて詳しく説明できるように、友達とカードトークをしながら、アニメキャラクターについてやり取りすることができる。

(4)展開

時間	生徒の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準<評価方法>
	○【Greeting】 ・あいさつをする。	・あいさつをする。	
10分	<p>○【Small Talk/ Interaction】</p> <p>ALT : Today is a special class. JTE : That's right. We have special guests too. I'm a little nervous. ALT : Me, too. OK. Let's play something interesting. We will be relaxed. JTE : How about "Card Talk" ? ALT : Card Talk? Nice idea! It's fun. JTE : We have some cards about a part of Japanese anime characters. ALT : Japanese anime characters? Good! As you know, I have 2 sons in the U.S. They are very interested in Japanese anime. But I don't know about Japanese anime very well. So, it will be nice for me to do "Card Talk". Let's talk about Japanese anime characters with the cards. JTE : OK. Then... here you are. (ポケットの絵を見せながら) Whose pocket is this? ALT : Whose pocket? Oh, I know that pocket. It's Doraemon's. JTE : That's right. Do you know the name of pocket? ALT : ... Special pocket? JTE : Oh, close! It's Yojigen Pocket. Doraemon is a famous Japanese anime character. Everyone, please tell Jeremy-sensei more about Doraemon. Who is Doraemon? Ss : He is a cat robot. He comes from the future. He has a lot of tools... ALT : I see. Which tool do you like the best? Ss : Dokodemo Door. / Small Light. / Time Machine... ALT : Thank you, everyone. Now I know a lot about Doraemon.</p> <p>JTE : Next is your turn. ALT : Next card is this. Here you are. (ズボンを見せながら) JTE : Whose pants is this? (are these? は使わない) I have no idea. ALT : It is a famous American character's pants.</p>		

JTE : He or she?
 ALT : He.
 JTE : OK. What does he do?
 ALT : He is a scientist.
 JTE : I see... but still a little difficult. Does he have a family?
 ALT : Yes. He has a wife. Her name is Betty.
 JTE : I have still no idea. Everyone, do you know?
 Ss : No...
 ALT : OK. He also has many friends!
 JTE : Many friends?
 ALT : Yes, like Captain America, Doctor Strange, Iron man....
 JTE : I got it!
 ALT : Whose pants is this?
 JTE : I don't know the name, but is it (Are they) Avengers hero's pants?
 ALT : That's right. It is (They are) Hulk's pants.
 JTE : Oh, Hulk. I see. Thank you. Now I know a lot about Hulk.

25分 ○【Today's Goal】

ジェレミー先生に日本のアニメについて詳しく説明できるように、友達とカードトークをしながら、アニメキャラクターについてやり取りすることができる。

<p>○【Activity 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人グループ(2つのペア)を作って、やり取りを行う組(AとB)と録画する組(CとD)で活動する。 ・カードには、クラスメイトが Unit6 で紹介したアニメキャラクターの写真や情報が書かれている。(4人×2枚) ・カード表:キャラクターの写真(正解) 裏:キャラクターの情報・一部の写真 ・自分が紹介したいカードを1つ選んで、メモを作成する(2分) ・A は B にカードを渡し、その絵が誰の物なのかを B にたずねてから会話を始める。(1分) <p>【例】A は自分の選んだキャラクターについて説明する。(自分の考えや気持ちなどを話す。)B は質問をし、相手が伝えようとしている情報について詳しく知ろうとする。質問に対する答えには、新たな情報を付け加える。</p> <p>(※)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A と B が役割を交代。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カードトークの説明 ・詳しく話す側、知ろうとする側の立場を押さえる。 ・机間指導 ・左の(※)で中間指導(ABCD それぞれの間) ☑A はアニメキャラクターについて(自分の考えや気持ちなどを交えながら)説明しているか。B からの質問に情報を加えて答えているか。 ☑B は相手の言っていることを確認したり、質問をしたりするなど、詳しい情報を得ようとしているか。 	<p>◎ジェレミー先生に日本のアニメについて詳しく説明できるように、友達とカードトークをしながら、アニメキャラクターについてやり取りしているか。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターについての説明(自分の考えや気持ちなど) ・質問の答え+新たな情報 ・(自ら質問) <p><行動観察・録画動画></p>
---	--	--

	<p>生徒のやり取り例</p> <p>A・B やり取りをする。(A が B にカードを渡して、会話を始める) C・D 録画をする。</p> <p>A: (カードの絵を見ながら) Whose cola is this?</p> <p>B: The character is a high school student.</p> <p>A: High school student? A boy or a girl?</p> <p>B: A girl.</p> <p>A : OK. What food does she like?</p> <p>B : Her favorite food is potato chips. (She likes potato chips.)</p> <p>A : Potato chips?</p> <p>B : Yes! She eats it every day, maybe.</p> <p>A : What sport does she play?</p> <p>B : Sorry, I don't know.</p> <p>A : Does she have a family?</p> <p>B : Yes, she has a brother. His name is Taihei.</p> <p>A : Oh, Taihei! (I know!)</p> <p style="text-align: center;">..... I minute later.....</p> <p>B : Whose cola is this?</p> <p>A : She is Umaru chan. / I don't know.</p> <p>B : That's right. / She is Umaru chan. Do you know her?</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・(AとB)が終わったら、(CとD)と交代する。 撮影する組が(AとB)、やり取り行う組が(CとD)。 ・動画を見て、動画振り返りシートのチェック項目を記入する。 ・気づいたところを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標に沿って、具体的に何を振り返らせるのかを伝える。 	
10分	<p>○【Activity2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に何人かの代表生徒が ALT とやり取りを行う。 <p>(A:代表生徒 B:ALT)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTが、生徒の情報が参考になったかを含めてコメントする。 	◎Activity1 の評価内容と評価方法と同様
5分	<p>○【Reflection】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導 	◎Activity1 の評価内容と評価方法と同様
	<p>○【Greeting】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする 	

(5) 評価

「話すこと[やり取り]」の思考・判断・表現

十分満足できる状況(a)	おおむね満足できる状況(b)	努力を要する状況(c)と指導の手立て
<p>ジェレミー先生に日本のアニメについて詳しく説明できるように、友達とカードゲームをしながら、アニメキャラクターについてやり取りしている。</p> <p>※以下のことをしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターについて自分の考えや気持ちなどを交えながら、説明したりしている。 ・質問の答えに新たな情報を付け加えている。 ・自ら質問している。 	<p>ジェレミー先生に日本のアニメについて詳しく説明できるように、友達とカードゲームをしながら、アニメキャラクターについてやり取りしている。</p> <p>※以下のことをしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターについて説明している。 ・質問の答えに新たな情報を付け加えている。 	<p>ジェレミー先生に日本のアニメについて詳しく説明できるように、友達とカードゲームをしながら、アニメキャラクターについてやり取りしていない。(=(b)に満たない。)</p> <p>→・机間指導で個別支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善点について振り返りシートに記入する。 ・撮影動画から生徒がつかずいている原因を分析し指導する。

※その他の添付資料

板書計画

Unit's Goal
ジェレミー先生が息子へのお土産を買う際に参考となるように、日本の伝統文化やアニメキャラクターについて説明し、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、先生からの質問に答えたりすることができる。

Today's Goal
ジェレミー先生に日本のアニメについて詳しく説明できるように、友達とカードトークをしながら、アニメキャラクターについてやり取りすることができる。

Whose

Which

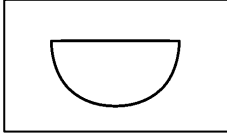
What

Where

Who

Do you ~?

Does he ~?



話を発展

気持ち

立場

相手があまり知らなかったら詳しく教えてあげる！

自分が知らなかったら興味を持って知る！



※MemoはTVに写す